

# 国語科学習指導案

広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成20年9月〇日
- 2 学年・組 第2学年〇組
- 3 単元名 こんなお話を考えた（光村図書 2年下）
- 4 本単元で扱う言語活動 想像したことなどを文章に書くこと

## 5 単元について

- 本学級の児童は、第1学年のときに「進んで自分の思いを表現できる力をつける～①文章の中に自分の思いを豊かに表現する力をつける。②文章による表現の基礎的な能力をつける。」という研究主題のもとに、「書くこと」に取り組んだ。昨年度1月にとったアンケートでは、「あのねノートを書くこと」を好きだと答えた児童が、学年の82%、嫌いだと答えた児童が18%いた。嫌いな理由として、考えるのが難しいから、最後のまとめが難しいから、見たこと・さわったこと・したことを書くのが嫌いだからといった理由が挙げられていた。

そこで、第1学年末の結果を受けて、第2学年では「書くことが楽しい」と誰もが感じる題材や「書いてみたい」「書いて〇〇さんに伝えたい」と思う題材を中心に、「短作文年間指導計画」を作成した。短作文指導の後の交流では、お互いによいところを見付けあう活動を入れて、「書いてよかった」と思うような交流を心がけるようにした。また、文字やかぎ（「 ）」の表記が正しくない児童が学級の約1/3いたので、かぎ（「 ）」を入れた聴写テストを行ったり、プリントを使って長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の「は」、「へ」及び「を」を文の中で正しく使う練習をしたりしてきた。さらに、国語科の時間以外にも、語彙を広げるために「言葉集めゲーム」や「連想ゲーム」をしたり、論理的に話をする習慣を付けるために「問答ゲーム」をしたりしてきた。また、毎週の「おたよりあのねノート」以外に、時折「ニュース5・7・5」や「生活科カード」などを書いたりして、書くことに慣れさせてきた。上手な表現をねらうよりも、書くことに慣れさせ、書くことを身近に感じて、楽しく書くことができる子どもを育てたいと考えたからである。子どもたちが書いたものを学級通信で紹介してみんなで読み合う中で、「書いてよかった。」「楽しかった。もっとやりたい。」「通信にのってうれしいよ。」という声が聞かれるようになってきた。

これらの取り組みの結果、現在、短作文の時間は、ほとんどの児童が生き生きと活動している。また、順序を表す言葉を用いたり、五感を働かせて書いたりすることができる児童が増えてきた。友達に自分の作文を紹介することも好きで、みんなの前で発表したがる児童も多い。しかしながら、できあがった作文の中には促音などの表記が正しく書けていなかったり、かぎ（「 ）」や助詞が正しく使われていなかったりしているものや主語・述語のねじれがあり、意味が伝わりにくいものもある。

- 本単元は、3枚の絵をもとにして、場面の様子などについて自由に想像を広げ、「はじめ・中・おわり」の簡単な組立てを意識したお話を考えて書くことをねらいとしている。かわいいうさぎときつねの様子から、想像をふくらませてストーリーを考えることができるので、楽しく書くことができ、この時期の子どもたちにふさわしい教材である。

また、本単元では、子どもたちは、書こうと思う事柄の順序を考えながら、語と語、文と文の続き方に注意して書く力を身に付けるとともに、句読点やかぎ（「 ）」の使い方などを改めて理解し、文の中で正しく使う力を養うこともできる。

さらに、自分が想像したことをもとに、自分だけのお話を作り、クラスで発表会をしたり、1年生に「お話会」をしたりするという活動を設定することで、書くことへの関心・意欲を高め、表現する楽しさを味わうことができる。そして、これらのことは、相手意識や目的意識をより明確に持って、適切に表現しようとする態度を養うことにつながっていくと考える。

- 指導にあたっては、朝読書の時間に「くまの子ウーフ」の読み聞かせを継続して行ったり、6才の児童が書いた創作童話「天才えりちゃん金魚を食べた」の読み聞かせを行ったりして、まず、「自分もお話を書いてみたい」という意欲を高めたい。その上で、「1年生に『お話会』をしてあげよう」というゴールを示すことで、相手意識、目的意識を持って自分のお話を書かせていきたいと考える。また、低学年の書くことの指導で大切にされなければならないのは、「楽しんで書くこと」であるので、まずは、想像したことを自在に楽しんで、おもしろがりながら書くことを大切にしていきたい。

お話を想像して書くのは初めてなので、教材の例文から上手な表現を見つけて、それを「お話作り名人ポイント」にして掲示しておき、お話を書くときや振り返るときの参考にできるようにしたい。また、3枚の絵について自由に想像する際には、登場人物の表情や動作、岩や川（池）や木や花、ちょうちょや小鳥の姿に目を向けさせ、これまで学習してきた「五感を使って書き表す」ことが、お話の世界でも大切なことに気付かせたい。絵から想像したことや感じたことを「お話メモ」に書かせて、自分が書きたいと思うお話の順序を考えてから、吹き出しに会話を入れながらお話を組立てるようにさせていきたい。さらに、「お話メモ」の段階で考えたことを気軽に友達と口頭作文で話し合わせることで、お話をふくらませたり、場面ごとのつながりを意識させたりする手だてにしたいと考える。

## 6 単元の目標

- 絵から想像したことをもとに、楽しくお話を作ろうとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 事柄の順序を考えながら、語と語、文と文との続き方に注意して書くことができる。  
(書く能力 エ)
- 句読点の打ち方や、かぎ（「 」）の使い方を理解して、正しく使うことができる。  
(言語事項 ウ)

## 7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3枚の絵を見て、楽しんでお話を考えたり書こうとしたりしている。</li> <li>○ 友達のお話に関心を持って聞こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡単な組立てを考え、想像をふくらませてお話を書いている。</li> <li>○ 書いたお話を読み返し、間違いなどを直している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 句読点の打ち方やかぎ（「 」）の使い方、言葉の表記に注意して文章を書いている。</li> </ul>

## 8 単元の学習と評価の計画

次	時	学習活動	評価の観点			評価規準・評価方法
			関・意・態	書くこと	言語事項	
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習の見通しを持つ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           自分だけのたのしいお話を書いて1年生に『お話会』をしよう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 教材の作品を読み、上手なところを見付ける。登場人物に名前を付ける。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の見通しを持ち、お話を書くことに興味を持っている。 (観察)</li> </ul>

二	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 3枚の絵をもとに，どんなことが想像できるかを全体で話し合う。</li> <li>* 話し合ったことを基に，どんなお話を書きたいかを各自で考える。</li> <li>* 自分のお話に合わせて絵を「はじめ・中・おわり」の順に並べ，登場人物の行動やまわりのようすを「お話メモ」に書く。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像を広げながら楽しくお話を考えている。 (ワークシート，発言)</li> </ul>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 3枚の絵をもとに，事柄の順序を考え，登場人物の会話を「お話メモ」に書く。 (本時)</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄の順序を考え，想像を広げながら「お話メモ」を書いている。 (ワークシート，発言)</li> </ul>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 場面と場面のつながぎを考える。</li> <li>* お話にぴったりの題を付ける。</li> <li>* 『お話作り名人ポイント』をもとに，友達と「お話メモ」の交流をして修正をしたり，付け足しをしたりしてお話をふくらませる。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の「お話メモ」に興味を持って聞き，よいところやもっと知りたいところを見付けている。 (ワークシート，発言)</li> <li>・場面と場面をつなげようとしたり，想像したことがより相手に伝わるように工夫したりしている。 (ワークシート)</li> </ul>	
	6・7	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「お話メモ」をもとにして，場面ごとの話をまとめて文章に書く。</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が想像したことが相手に伝わるように書いたり，会話文を入れて書いたりしている。(ワークシート)</li> <li>・文章の中で，句読点やかぎ(「 」)などを正しく使っている。(ワークシート)</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分で読み返し，お話がつながっているか確かめたり，付け足したりする。</li> <li>* 誤字・脱字や，主語と述語のねじれを直したりする。</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤字・脱字，主語と述語のねじれなどを直したり，より相手に伝わるよう工夫したりしている。(作品)</li> </ul>
三	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>* クラスで発表会をし，感想を書き合う。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品のよさに気付き，これからの自分の学習に生かそうとしている。 (発言・観察)</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 1年生に「お話会」をする。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や自分の作品のよさに気付き，そのよさが相手に伝わるように読んでいる。 (発言・観察)</li> </ul>

## 9 本時の目標

- 想像したことをもとに，事柄の順序を考えながら登場人物の会話を考えることができる。

10 本時の学習展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 ● 努力を要する状況と判断した児童への指導の手だて	評 価 規 準 ・ 評 価 方 法
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の課題を把握する。</p>	<p>○ 3枚の絵を掲示することにより、お話をつくっていくことへの意欲を持つことができるようにする。</p>	
<p>うさぎやきつねたちがしていることを想像して、たのしい会話を考えよう。</p>		
<p>3 お話メモの会話の書き方について考える。</p>	<p>○ 教師の考えた良くない例を聞くことで、楽しい会話のやりとりを考えようという意欲を持たせるようにする。</p>	
<p>4 場面ごとに登場人物の会話のやりとりを書く。</p>	<p>○ 登場人物がしていることを考えながら会話のやりとりを書くことを確認する。 ● 会話が考えられない場合は、教師が役割演技の相手をするすることで、具体的な会話を想像することができるようにする。</p>	<p>A：登場人物の会話を想像し、順番を考えながら、それぞれの場面に2回以上の会話のやりとりを書いている。 B：登場人物の会話を想像し、順番を考えて書いている。 (ワークシート)</p>
<p>5 隣の人やみんなの前で、「お話メモ」を見ながら、お話を紹介しあう。</p>	<p>○ 順番を表す言葉を用いて、登場人物がしていることや、どんな会話をしているか教え合うように声をかける。 ○ 楽しいところを見付けるように声をかける。</p>	
<p>6 次時の予告をする。</p>	<p>○ 「お話メモ」を見ながらグループの人に自分のお話を紹介して、楽しいところやもっと知りたいことを見付け合い、「お話メモ」を完成させることと、お話にぴったりの題を付けることを知らせる。</p>	